

「ワクワククリスト」が
実現できる大崎市

仕事や家族を優先しながら過ごしてきた人生の中で、57歳の時に健康寿命について考えるようになりました。元気に動ける時間は限られていると感じ始め、自分の人生に後悔したくないと思い、「ワクワククリスト」と名付けたノートに本当にやりたいことを書き出しました。

鹿児島県との2カ所です。最後まで悩みましたが、「温泉」歴史「自然の恵み」が身近にある暮らしができる全国で最もワクワクする場所が大崎市だと思い、移住を決断しました。移住満足度は120パーセントで、納得のいく選択でした。

憧れをかなえた移住生活

リノベーションした平屋で特にこだわったのは、以前から憧れていた薪ストーブです。薪ストーブでは、サンマやホッケを焼くほか、さまざまな料理の研究にも活用しています。

また、キャンピングカーは「ワクワククリスト」の中でも特に実現したかった夢の一つで、移住先が決まるまで、北海道や東北を転々としながらキャンピングカー生活をしていま

した。いつかは全国を一人旅することを楽しみにしています。理想の暮らしを思い描きながら物件を見つけたのは時間がかりましたが、納得のいく住まい選びができたと思っています。今は、大崎市での暮らしが新鮮な発見の連続で、心地よさを感じています。

「お茶っこ文化」、初体験

移住後、印象的だったことのひとつが「お茶っこ文化」です。地域の人たちが気軽に集まり、お茶やお酒を飲みながら会話をを楽しむ時間があります。何気ない会話の中で地域のことを知り、人とのつながりが広がることで、知らない土地で暮らす不安が少しずつ安心感に変わっていききました。

これから やってみたいこと

私と同じように人生の一步を踏み出した移住者の皆さんと話ができたらうれしいです。

また、「ワクワククリスト」には、料理やルアーフィッシング、楽器演奏など、実現できていないことがたくさんあります。一つ一つ形にするために、これからもワクワクすることに挑戦していきたいと思っています。

多方面から 移住をサポート！

はじめの一步を一緒に。
あなたの“移住したい”を私たちが応援します。

■宮城おおさき移住支援センター CU:RUS

大崎市への移住について、気軽に相談してみませんか。
移住のエキスパートが「おおさき暮らし」をサポートします。
ウェブサイトには、移住者のインタビュー記事や動画も公開しています。

問 宮城おおさき移住支援センター CU:RUS ☎25-4493



▲宮城おおさき移住支援センター
CU:RUS ウェブサイト

■大崎市空き家バンク

市内に空き家を所有し、売りたいまたは貸したいと考えている人は「大崎市空き家バンク」へ登録しませんか。
登録した物件情報は、ウェブサイトに掲載し移住希望者などへ情報提供しています。

問 宮城おおさき移住支援センター CU:RUS ☎25-4493



▲宮城おおさき移住支援センター
CU:RUS ウェブサイト

■市内に移住する若者世帯のための住宅購入やリフォーム支援

手続きの進め方、補助の内容・要件などについて、事前に問い合わせください。
※予算がなくなり次第、終了します。

①住宅新築・購入

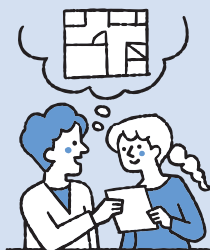
補助金額 上限140万円

②購入する住宅のリフォーム

補助金額 上限90万円

※②は、工事着手後の申請はできません。

問 建築住宅課住宅担当 ☎23-2108



▲市ウェブサイト

ワクワクを追いかけた移住

北海道から大崎市へ

問 まちづくり推進課移住担当
☎23-5069



自身の「ワクワクすること」を一つずつ実現しようと、令和7年6月に北海道札幌市から岩出山地域に移住してきた酒井公樹さん。

平屋であることやキャンピングカーを止める場所があることを条件に住まいを探す中で、理想の物件と出会い、岩出山地域を移住先に選びました。

新たな一步を踏み出した先にあったのは、これまでとは違う時間の流れと、自分らしく過ごせる暮らしでした。

本市で始まった新しい人生を紹介します。



プロフィール

酒井 公樹 さん

北海道網走市出身。高校卒業後、仕事一筋で会社に勤め、60歳で定年退職。人生の節目に「これからは自分のために生きたい」と決意。やりたいことを書き出した「ワクワククリスト」をきっかけに岩出山地域へ移住。現在は、空き家をリノベーションした平屋で暮らしながら、温泉や自然、地域とのつながりを楽しみ、自分らしい新たな人生に挑戦している。



〈写真解説〉

- ①酒井さんと祖父の形見の法被
- ②リノベーションした時にこだわった薪ストーブ
- ③実現したかった夢の一つであるキャンピングカー